



ふるさと デー

稲美町の未来を考える



稲美町立 **稲美中** 学校

令和5年 **10月28日** (土) **8:50~12:30**

学年() クラス() 番号()
名前()

もくじ



第3回 稲美中学校 「ふるさとデー」

★あいさつ・委員・コミュニティ・スクールについて	・・・・・・・・ 1
★ふるさとデー 日程・各学年の内容	・・・・・・・・ 2, 3
★全校合唱『群青』歌詞	・・・・・・・・ 4
★コミック講演会 又吉健二さん『えがおでボランティア』	・・・・・・・・ 5
★校内活動配置図	・・・・・・・・ 6
★ふるさとデー開催までの記録（コミュニティ・スクールの活動）	・・・・・・・・ 7

あいさつ

平素はコミュニティ・スクールにご理解とご協力、誠に有難うございます。

稲美中学校はコミュニティ・スクールとして4年目を迎えました。この間、学校と地域をつなぐ活動として「防災」をテーマに取り組んできました。今年で3回目となった『ふるさとデー』は『つながる人・つながる心・つなげる夢・未来』をテーマに、生徒たち主導で体験学習をすすめていけることが嬉しいです。

いつ起るかもしれない災害に対して準備をすることで、私たちが出来ること、みんなが出来ることを学習・体験するとともに自ら適切な行動が出来るように、備えることの大切さと防災意識への向上を目指しています。

今日は皆さんで稲美町の未来について考える機会にしましょう。

稲美中学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

会長

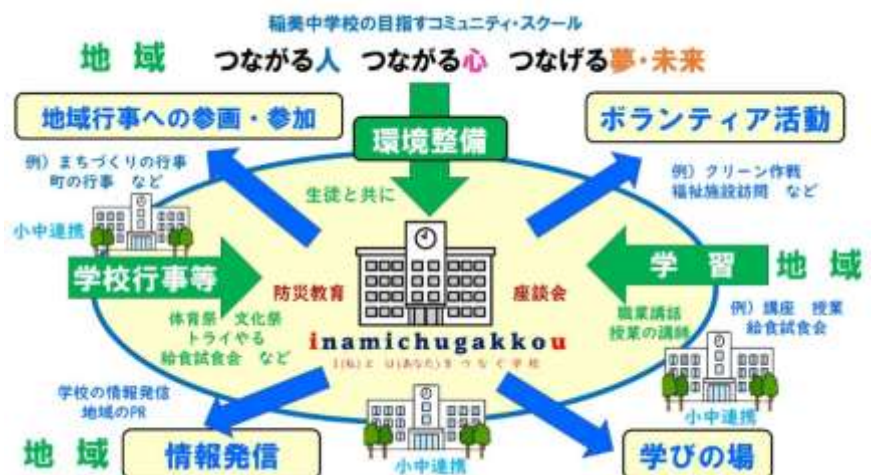
稲美中学校は、令和2年度より「コミュニティ・スクール」となり、「つながる人 つながる心 つなげる夢・未来」の旗印の下、学校運営協議会が中心となり、「学校と地域が願いを共に、命の大切さを学ぶ地域ぐるみの防災教育」に取り組んできました。

メインの活動である今年度の「ふるさとデー」は3年目を迎え、総勢50名以上の講師の方の協力や、多くの保護者や地域の方に参加をしていただく大きな行事となりました。

生徒たちの心の奥には、稲美町は大切な「ふるさと」であり、自分たちは地域に守られて育った」という気持ちがあります。しかし、小学校を卒業すると、地域の方とふれあう機会は少なくなります。将来の地域の担い手となる生徒たちが、稲美中学校コミュニティ・スクールの取り組みにより、地域の方と繋がり、災害時などには積極的に行動し、共に「ふるさと」を守れるよう学びを進めていきたいと思います。ご協力よろしくお願いします。

稲美町立稲美中学校学校

校長



ふるさとデー 日程

			1 年（4 クラス）	2 年（3 クラス）	3 年（4 クラス）
1	①	8:50～ 9:25	開 会・全校合唱『群青』・生徒発表		
	②	9:30～ 10:00	又吉 健二さん 講演会（体育館） 演題『えがおでボランティア』		
	③	10:00～ 10:10	閉会 謝辞 コミスク委員さん紹介 2部の講師紹介と説明		
2	④	10:20～ 11:20	①体験学習（武道場） ②防災講座（卓球場） 2グループ 講師：兵庫県防災士会 東播エリア	防災学習 「Challenge」 避難所設営ゲーム （2年各教室）4クラス 講師：明石高専 防災団D-pro135°	防災体験学習 「自分の命は自分で守る」 （体育館 校舎 プール周辺） 4グループ 講師：コミスク委員 加古川消防署・稲美町消防団
		休憩			
	⑤	11:30～ 12:30			
		12:40	片付け・移動 ＊全校生：保存パン、保存水、アルファ化米 持ち帰り		
昼休み			講師の皆さん 給食		
5校時	13:30～		授業 50分	授業 50分	授業 50分

《運営》

挨拶：学校長

講師紹介：コミスク会長

謝 辞：生徒会長

2部紹介：コミスク副会長 司 会：教頭



《開会・生徒意見発表》

- ① 合唱「群青」(全校生)
- ② 稲美中人権宣言について(生徒会執行部)
- ③ 救命講習から学んだこと
- ④ アクティブレスト
- ⑤ 災害時の食事



《講演》

アドバイザー：流通科学大学 又吉健二さん

演題『えがおでボランティア』



今年度 実施内容

≪ 1 年生 ≫

講 師：兵庫県防災士会 東播エリア防災士 (6 名) 代表：津村 道彦さん

場 所：武道場 (60 分)・卓球場 (60 分)

人 数：2 グループに分かれて学習 (1・2 組：武道場から 3・4 組：卓球場から)

武道場：搬送法 (毛布担架・徒手搬送) と段ボールトイレ作成

卓球場：防災基本講座 (防災クイズ)・クロスロードゲーム

準備物：PC・プロジェクター・問題用紙・筆記用具



≪ 2 年生 ≫

講 師：明石工業高等専門学校 明石高専防災団 D-PRO135°

代表 本塚 智貴先生、所属学生 10 名

場 所：普通教室棟 2 年 1 組から 2 年 4 組 (教室前に名前)

内 容：避難所設営シュミレーションゲーム「チャレンジ」

人 数：各グループ (4 人～5 人)・小学生、保護者も参加可能

準備物：各教室 PC・プロジェクター・「チャレンジ」セット・筆記用具



≪ 3 年生 ≫

講 師：学校運営協議会委員 10 名・加古川消防署 2 名・地域消防団 23 名

場 所：体育館・管理棟・屋外プール・会議室・図書室

内 容：段ボールベット・毛布担架・放水訓練・暗やみ (目隠し) 体験
スモーク体験 (徒手搬送演習)・防災展示

人 数：クラスごとの体験 (着替え必要)

準備物：段ボールベッド (5 セット)・毛布担架 (竹・毛布×4 セット)

軍手 (各自)・アイマスク 90 セット・ポンプ車 2 台

場所		体育館		会議室	北館2階～3階	プール
内容		段ボール	担架	消防署 スモーク体験	暗やみ体験	消防団 放水訓練
時間		30分		30分	30分	30分
①	10:20 ～ 10:50	1 組	1 組	2 組	3 組	4 組
移動						
②	10:55 ～ 11:25	2 組	2 組	1 組	4 組	3 組
休憩・移動						
③	11:30 ～ 12:00	3 組	3 組	4 組	1 組	2 組
移動						
④	12:05 ～ 12:35	4 組	4 組	3 組	2 組	1 組

稲美中全校合唱 『群青』

ああ あの街で生まれて君と出会い
たくさんの想い抱いて 一緒に時を過ごしたね

今旅立つ日 見える景色は違っても
遠い場所で 君も同じ空
きっと見上げてるはず



「またね」と手を振るけど
明日も会えるのかな
遠ざかる 君の笑顔今でも忘れない

あの日見た夕日 あの日見た花火
いつでも君がいたね
当たり前が幸せと知った

自転車をこいで 君と行った海
鮮やかな記憶が
目を閉じれば 群青に染まる

あれから二年の日は 僕らの中を過ぎて
三月の風に吹かれ 君を今でも想う

響けこの歌声
響け遠くまでも あの空の彼方へも
大切な全てに届け

涙のあとにも 見上げた夜空に
希望が光ってるよ

僕らを待つ群青の街で
ああー

きっとまた会おう
あの街で会おう 僕らの約束は
消えはしない 群青の絆

また 会おう
群青の街で



作詞 福島県南相馬市立小高中学校 平成24年度卒業生
作曲 小田美樹(福島県南相馬市立小高中学校 教諭)



この曲が生まれたのは、福島
第一原子力発電所から半径
20km 圏内に位置する福島県
南相馬市。

南相馬の子どもたちが東日本大震災によって離ればなれになってしまった仲間を思って、つぶやいたり、書き留めたりした言葉を、小高（こだか）中学校の小田美樹先生がまとめて、曲をつけた作品です。

震災後、全国に避難していった友だちが原発事故で小高に戻れないなど、たくさんの不安が生徒たちにのしかかり、わずか6、7名の2年生も、心を痛め、音楽の授業では歌が歌えなくなっていました。音楽の小田美樹先生も・・・。

ある日、小高中学校を離れた生徒がどこにいるのか、大きな日本地図に生徒の顔写真を貼り付けながら、子どもたちが「遠いね」「でも、この地図の上の空はつながってるね」など話しながら、詩づくりが始まりました。子どもたちの思いを綴った日記や作文、他愛もないおしゃべりから、小田先生は子どもたちの想いを書き留めていき、それをつなぎあわせて、「群青」ができてあがりました。

全国を旅して 出会いを音楽に変える 合唱作曲家 弓削田健介
オフィシャルサイト より 抜粋
<https://yugemusic.com/ultramarine/>

ふるさとデー講演会（学校運営協議会委員研修講演会）

演題

「えがおでボランティア」

講師 又吉 健二 さん

講師プロフィール



神戸の公立中学校長を務め、定年退職後は流通科学大学で社会貢献活動をテーマにした出前授業などに取り組んでいる。防災団体「みきジュニア防災クラブ」代表としての顔もあり、災害ボランティアなどを通して子どもたちの心を育んでいる。災害ボランティアの原点は阪神・淡路大震災。現在も東日本大震災や風水害の被災地でボランティア活動に取り組み、防災教育・ボランティア活動を通して、人を育て、地域を繋いでいる。現在は三木市市議会議員として地域活動に尽力している。

◇兵庫県丹波市 田畑で樹木の撤収作業

◇宮城県石巻市 子どもたちへのお楽しみ会



◇宮城県南三陸町 避難所、足湯でお話を聞かせていただく

◇岡山県真備町 家族の大切な写真を洗浄

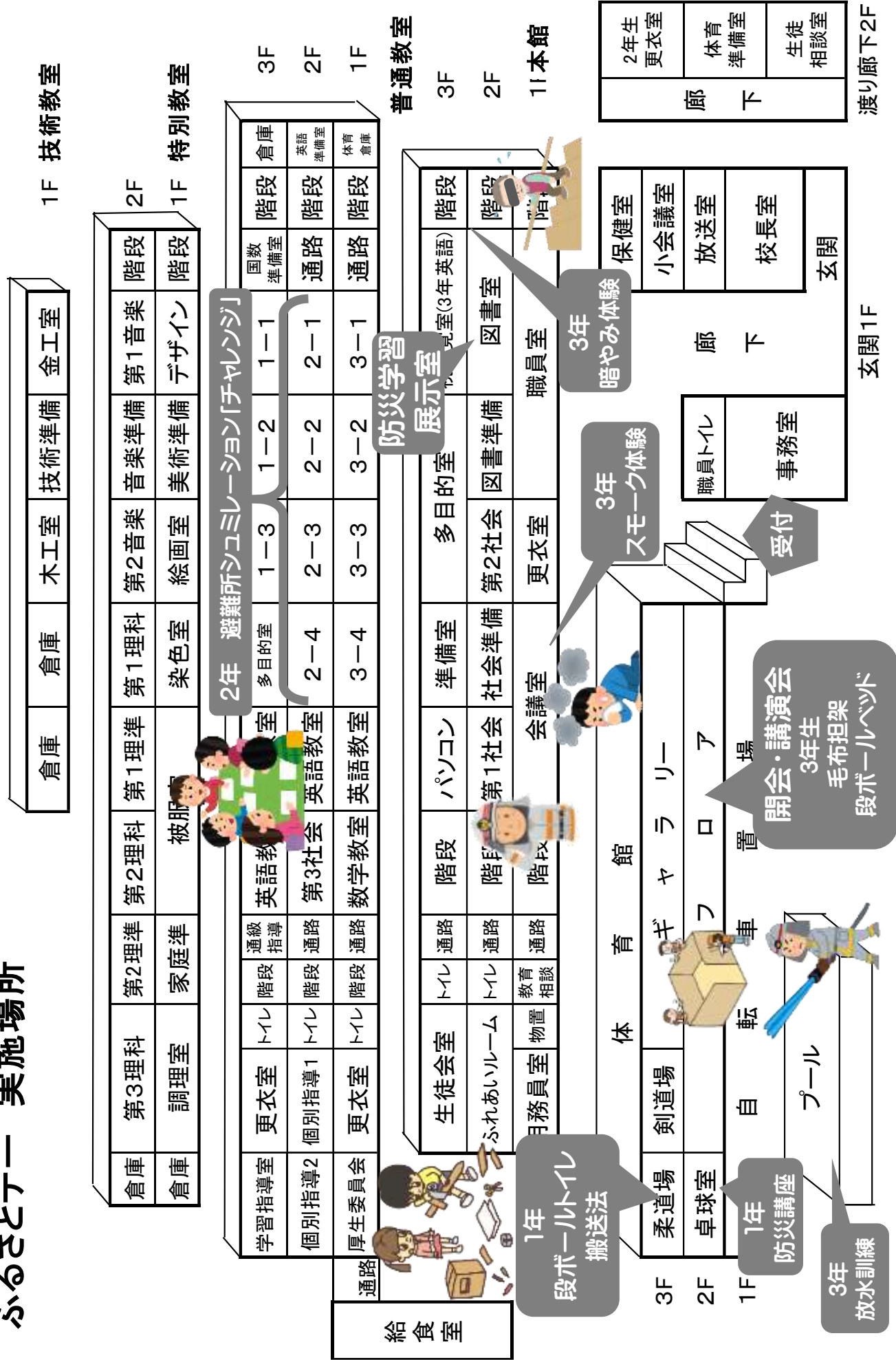
◇長野県千曲川 災害ゴミ撤収、リンゴ農園お手伝い

◇熊本県南阿蘇 アスパラガス農園での収穫作業



◇地域でできる身近なボランティア

ふるさとデー 実施場所



第3回 ふるさとデー開催までの記録

【令和2年度】

R2.9.16(水) 第3回学校運営協議会「防災活動についての発案」
R2.11.13(水)PTA 研修部講演会「あしたを語る」大川小遺族 佐藤敏郎さん

【令和3年度】

R3.7.03(土)天満南小防災ボランティア参加7名
R3.7.10(土)母里小防災ボランティア参加5名
R3.7.18(日)～28(水)体育館の壁に「ふるさとアート」参加生徒のべ105名
R3.7.25(日)コミスク・生徒会座談会「災害死者0人の稲美町にするには」生徒会10名
R3.7.29(木)教職員研修「防災ボランティアとコミスク」又吉健二さん
R3.10.26(火)コミスク・教職員 避難所運営ゲーム「チャレンジ！」研修 本塚智貴さん
R3.11.06(土) コミスク主催「防災デー」オープンスクール
R3.12.4(土)「いなみ冬景色」イルミネーション作成・点灯式参加 生徒のべ250名
R3.12.7(火)第6回学校運営協議会「防災デー」振り返り
R3.12.25(土)コミスク 地域講座「ハンギングバスケット」講師 長石真梨子さん
R4.1.17 生徒会執行部 「阪神淡路大震災追悼集会」竹灯籠設置
R4.3.25 学校運営協議会委員交流会

【令和4年度】

R4.4.2(土)まちづくりの会主催 「桜ウォーキング」生徒ボランティア参加 123名
R4.5.27(金)第1回学校運営協議会開催
R4.6.11(土)地域学校協働本部イースト∞応援隊「防災避難所体験」生徒参加
R4.6.23(木)第2回学校運営協議会開催
R4.7.20(水)稲美中学校区青少年健全育成推進協議会研修会「コミスクの紹介」講師コミスク委員
R4.7.30(土)コミスク・生徒会座談会「私たちの稲美町、こんな町にしたいねん！」生徒21名
R4.9.7(水)第3回学校運営協議会開催
R4.9.13(火)「ふるさとデー」打合せ 講師 加古川消防署 鈴木基之さん松下 簾さん
R4.9.27(火)「ふるさとデー」打合せ 県防災士会 津村道彦さん 流通科学大学 又吉健二さん
R4.10.6(水)第4回学校運営協議会開催
R4.10.12(火)「ふるさとデー」事前研修会「スモーク体験」 コミスク委員・教職員
R4.10.24(月)「ふるさとデー」打合せ コミスク委員
R4.11.05(土) コミスク主催「ふるさとデー」オープンスクール
R5.12.6(土) いなみ冬景色 生徒ボランティア参加 96名
R5.12.24(土) コミスク 地域講座「つまみ細工」講師 長石真梨子さん

【令和5年度】

R5.4.1(土)まちづくりの会主催 「桜ウォーキング」生徒ボランティア参加 126名
R5.5.26(金)第1回学校運営協議会開催
R5.7.4(火)第2回学校運営協議会開催
R5.学校安全(防災)総合支援事業 講師:人と防災未来センター研究部長行司高博さん 打合せ
R5.8.7(月)職員・コミスク・生徒会防災研修「どうする?稲美中」生徒8名
R5.9.7(木)第3回学校運営協議会開催
R5.10.4(木)「ふるさとデー」打合せ 兵庫県防災士会 津村道彦さん・山口 守さん
R5.10.6(金)第4回学校運営協議会開催
R5.10.10(火) 学校安全(防災)事業 公開授業(坂元 翼先生・徳梅咲里先生)
R5.10.13(金)「ふるさとデー」打合せ 加古川消防署稲美分署嶋村さん打合せ
R5.10.16(月)「ふるさとデー」打合せ 明石高専防災団D-pro135° 本塚先生・吉岡副会長
R5.10.20(金)「ふるさとデー」打合せ 救急救命講習 加古川消防署 松下簾さん
R5.10.27(金)「ふるさとデー」打合せ コミスク委員・生徒リーダー
R5.10.28(土)「ふるさとデー」オープンスクール実施

全体MAP



2年生 2階

**避難所運営ゲーム
「チャレンジ」**

明石高専防災団
D-pro135°

1階

**3年生
スモーク
体験**

加古川東消防署
稲美分署

**2階
3階**

1年生

**ダンボールトイレ
防災基本講座**

兵庫県防災士会
東播エリア

武卓
道球場

体育館

受付

**3年生
ダンボールベッド
毛布タンカ
コミスク委員**

**3年生
放水体験**

稲美町消防団

稲美中学校学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

〒675-1113 兵庫県加古郡稲美町岡 2075-1

☎079-492-4400 fax079-492-4402

事務局：inami-jh@inami.ed.jp

稲美町立稲美中学校内

Since2020

